文化表現学科（～2019年度入学生）

2020年6月10日 更新

2020年4月1日 更新

科目名	くらしと経済		単位数	2	実務経験	担当教員	よしい としまさ 吉井 利真
カンパリコード	BP131		授業形態	講義			
授業の内容	私たちは消費をやめることはできません。ある水準の消費生活の実現には、安定的な雇用と一定の所得が必要となります。また、消費生活は安全が不可欠です。しかし、現実はどうでしょうか。消費生活の基盤や環境がいまどうなっているのか、講義を通して整理していきます。						
到達目標	1. 経済学の基礎概念を習得し、経済時事問題を理解するための基本的な視点を確立する。 2. 消費者として行動するときには留意しなければならない消費環境について理解を深める。 3. 一般常識、時事問題に回答できる。						
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (3)						
授業計画	第1回	内容	消費者行動の理解① 消費欲求とその対象について経済学的に理解する	予習	効用という概念について検索しておく		
				復習	プリントの復習問題に答える		
	第2回	内容	消費者行動の理解② 消費生活の水準について経済学的に理解する	予習	基礎的消費とは何か調べておく		
				復習	プリントの復習問題に答える		
	第3回	内容	消費者行動の理解③ 価格と消費について経済学的に理解する	予習	価格に消費者がどう反応するか考えておく		
				復習	プリントの復習問題に答える		
	第4回	内容	消費者行動の理解④ 所得と消費について経済学的に理解する	予習	消費生活への所得の影響を考えておく		
				復習	プリントの復習問題に答える		
	第5回	内容	消費生活の現状① 家計調査について集計方法や内容について理解する	予習	総務庁のWEB ページを概観しておく		
				復習	プリントの復習問題に答える		
	第6回	内容	消費生活の現状② 家計収入と消費について家計調査をもとに理解する	予習	直近の家計調査報告をWEB で見ておく		
				復習	プリントの復習問題に答える		
	第7回	内容	消費生活の現状③ 雇用と消費について家計調査をもとに理解する	予習	直近の家計調査報告をWEB で見ておく		
				復習	プリントの復習問題に答える		
	第8回	内容	消費生活の現状④ 家計消費の特徴について家計調査をもとに理解する	予習	直近の家計調査報告をWEB で見ておく		
				復習	プリントの復習問題に答える		
第9回	内容	消費者環境① 企業と家計について経済学的に理解する	予習	企業の役割を考えておく			
			復習	プリントの復習問題に答える			
第10回	内容	消費者環境② 行政と家計について経済学的に理解する	予習	租税負担についてWEB で調べておく			
			復習	プリントの復習問題に答える			
第11回	内容	消費者環境③ 消費と安全について消費者、企業、行政の関わり方を理解する	予習	PL 法とは何か調べておく			
			復習	プリントの復習問題に答える			
第12回	内容	消費者環境④ 購買チャンネルの多様化について事例によりながら理解を深める	予習	楽曲の購入方法を考えておく			
			復習	プリントの復習問題に答える			
第13回	内容	賢い消費者とは① 財やサービスの選択基準の確立について考える	予習	各自の商品の選択基準を考えておく			
			復習	プリントの復習問題に答える			
第14回	内容	賢い消費者とは② 現在の消費と将来の消費について考える	予習	貯蓄の理由を考えておく			
			復習	プリントの復習問題に答える			
第15回	内容	総括 私が考える消費生活	予習	これまでのプリントを見直す			
			復習	プリントの復習問題に答える			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	復習問題にコメントする						
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：筆記試験 (%)、レポート・課題 (80%)、作品・発表 (%)、実技 (%)、授業態度 (20%)						
教科書	なし						
参考文献	必要に応じて授業時に指示します						
注意事項	経済関係のニュースに関心を持ちようにしましょう。						

科目名	書道を学ぶ		単位数	2	実務経験	担当教員	つちや あけみ 土屋 明美
ナンバリングコード	BUS3232		授業形態	演習			
授業の内容	日本の伝統及び現代文化に加え異文化に対して理解する。基本的な漢字(楷書・行書)の筆づかい・筆の運び方から作品の制作まで行うことができる力を身につけることを目的とする。毎時間、お手本を課題にして練習と清書を繰り返す。楷書・行書の知識を習得して自由制作にまとめる。						
到達目標	1. 日本の伝統及び現代文化に加え異文化に対して理解している 2. 基本的な漢字(楷書・行書)の筆づかい・筆の運び方から作品の制作まで行うことができる力を身につけている 3. 表現する知識・能力を身につけている						
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1・2)						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション、授業の進め方	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	姿勢・執筆/さまざまな楷書	予習	プリントを読んでおく		
				復習	さまざまな楷書についてまとめる		
	第3回	内容	楷書①九成宮醜泉銘 練習	予習	身近な楷書について調べる		
				復習	九成宮醜泉銘について理解する		
	第4回	内容	" ② " 清書	予習	九成宮醜泉銘の要点を整理しておく		
				復習	楷書の基本についてまとめる		
	第5回	内容	" ③孔子廟堂碑 練習	予習	プリントを読んでおく		
				復習	孔子廟堂碑について理解する		
	第6回	内容	" ④ " 清書	予習	孔子廟堂碑について調べる		
				復習	楷書の用筆についてまとめる		
	第7回	内容	" ⑤半切にまとめる	予習	楷書の要点を整理しておく		
				復習	半切についてまとめる		
	第8回	内容	行書①さまざまな行書	予習	プリントを読んでおく		
				復習	行書について理解する		
第9回	内容	" ②蘭亭序 練習	予習	身近な行書について調べる			
			復習	蘭亭序について理解する			
第10回	内容	" ③ " 清書	予習	行書の要点を整理しておく			
			復習	蘭亭序についてまとめる			
第11回	内容	" ④風信帖 練習	予習	プリントを読んでおく			
			復習	風信状について理解する			
第12回	内容	" ⑤ " 清書	予習	風信状の要点を整理しておく			
			復習	行書の用筆についてまとめる			
第13回	内容	" ⑥半切にまとめる	予習	行書の要点を整理しておく			
			復習	半切についてまとめる			
第14回	内容	自由制作①試作	予習	プリントを読んでおく			
			復習	草稿を考える			
第15回	内容	" ②完成	予習	草稿を推敲する			
			復習	制作を振り返り、改善方法をまとめる			
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	作品課題にコメントを行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/(○)しない 成績評価の方法： 作品・発表(60%)、授業態度(40%)						
教科書	なし						
参考文献	随時、参考文献を配布する。						
注意事項	書道に関心を持って授業に臨むことを希望する。 用具・用材：大筆、硯、墨、下敷、文鎮、水滴、半紙など。						

科目名	ゼミナールⅡ	単位数	2	実務経験	担当教員 のなか ひろふみ 野中 博史
ナバリンクコード	SEM3231	授業形態	演習		
授業の内容	① 地域に根差した情報を調べて発見し発信する ② 発見した事柄について論文もしくは書籍として発刊する ③ 絵本などの制作・発刊をする				
到達目標	1. 主体的に物事を調査する力を育むことができる 2. 情報を書籍などとして発信する力を育むことができる 3. 他者にインタビューする力を育むことができる 4. 地域を知ることができる				
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (1・2・3・4)				
授業計画	第1回	内容	今年度の授業について相談	予習	シラバスを読んでおくこと
				復習	論文執筆に関する資料を読んでおくこと
	第2回	内容	卒論としてのテーマの考察	予習	論文執筆に関する資料を読んでおくこと
				復習	論文執筆に関する調査をしておくこと
	第3回	内容	卒論としてのテーマをいかにして調査するかの考察	予習	論文執筆に関する調査をしておくこと
				復習	論文関連書籍を読んでおくこと
	第4回	内容	調査に必要な書籍の考察	予習	論文執筆に関する調査をしておくこと
				復習	論文関連書籍を読んでおくこと
	第5回	内容	調査に必要な書籍の調査・考察	予習	論文執筆に関する調査をしておくこと
				復習	論文関連書籍を読んでおくこと
	第6回	内容	調査に必要な書籍の調査・考察	予習	論文関連書籍を読んでおくこと
				復習	論文関連書籍を読んでおくこと
	第7回	内容	調査に必要な書籍の調査・考察	予習	論文関連書籍を読んでおくこと
				復習	論文関連書籍を読んでおくこと
	第8回	内容	調査に必要な書籍の調査・考察	予習	論文関連書籍を読んでおくこと
				復習	論文関連書籍を読んでおくこと
	第9回	内容	調査に必要な書籍の調査・考察	予習	論文関連書籍を読んでおくこと
				復習	論文関連書籍を読んでおくこと
	第10回	内容	調査に必要な書籍の調査・考察	予習	論文関連書籍を読んでおくこと
				復習	論文関連書籍を読んでおくこと
	第11回	内容	関連資料の収集・取材	予習	論文関連書籍を読んでおくこと
復習				論文関連書籍を読んでおくこと	
第12回	内容	関連資料の収集・取材	予習	論文関連書籍を読んでおくこと	
			復習	論文関連書籍を読んでおくこと	
第13回	内容	関連資料の収集・取材	予習	論文関連書籍を読んでおくこと	
			復習	論文関連書籍を読んでおくこと	
第14回	内容	関連資料の収集・取材	予習	論文関連書籍を読んでおくこと	
			復習	論文関連書籍を読んでおくこと	
第15回	内容	関連資料の調査。収集・取材	予習	論文関連書籍を読んでおくこと	
			復習	論文関連書籍を読んでおくこと	
第16回	内容	関連資料の調査。収集・取材	予習	論文関連書籍を読んでおくこと	
			復習	論文関連書籍を読んでおくこと	
第17回	内容	関連資料の調査。収集・取材	予習	論文関連書籍を読んでおくこと	
			復習	論文関連書籍を読んでおくこと	
第18回	内容	関連資料の調査。収集・取材	予習	論文関連書籍を読んでおくこと	
			復習	論文関連書籍を読んでおくこと	
第19回	内容	関連資料の調査。収集・取材	予習	論文関連書籍を読んでおくこと	
			復習	論文関連書籍を読んでおくこと	
第20回	内容	関連資料の調査。収集・取材	予習	論文関連書籍を読んでおくこと	
			復習	論文関連書籍を読んでおくこと	
授業計画	第21回	内容	論文作成・雑誌・絵本の制作	予習	論文関連書籍を読んでおくこと

	回			復習	論文関連書籍を読んでおくこと
	第22回	内容	論文作成・雑誌・絵本の制作	予習	論文関連書籍を読んでおくこと
				復習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること
	第23回	内容	論文作成・雑誌・絵本の制作	予習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること
				復習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること
	第24回	内容	論文作成・雑誌・絵本の制作	予習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること
				復習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること
	第25回	内容	論文作成・雑誌・絵本の制作	予習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること
				復習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること
	第26回	内容	論文作成・雑誌・絵本の制作	予習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること
				復習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること
	第27回	内容	論文作成・雑誌・絵本の制作	予習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること
				復習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること
	第28回	内容	論文作成・雑誌・絵本の制作	予習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること
				復習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること
	第29回	内容	論文作成・雑誌・絵本の発表会	予習	論文執筆・雑誌・絵本発表の準備
				復習	発表会の反省
	第30回	内容	学習成果のチェック・面談	予習	到達目標に対する確認
				復習	今後の課題
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。					
課題へのフィードバック	毎回、到達度を確認します				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（40 ）、作品・発表（40 ）、実技（ ）、授業態度（20 ）」				
教科書	『書店』（著者名、出版社名） 特にありません				
参考文献	『書店』（著者名、出版社名） 適宜、資料を配布します。				
注意事項	地域での情報発掘活動などがあります。土日で調査することになりますので予め了解しておいてください。				

科目名	ゼミナールⅡ		単位数	2	実務経験	担当教員 おいかわ みちゆき 及川 道之
ナンバリングコード	SEM3231		授業形態	演習		
授業の内容	ゼミナールⅠに引き続いて日本の文学・文化・歴史などから自身が設定したテーマに基づいて考察を加える。論文や作品の完成に向けて実際に作業を進めていく。					
到達目標	1.自身の関心に応じたテーマが設定できる。 2.論文の作成や作品を完成して他者に伝えることができる。					
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1、2 ）					
授業計画	第1回	内容	授業の始まりにあたって～ゼミナールⅠをふり返る	予習	ゼミナールⅠの資料とノートを整理する	
				復習	授業の内容をノートにまとめる	
	第2回	内容	神話のテーマ①古事記	予習	古事記に関する資料と1年次のノートを整理する	
				復習	授業の内容をノートにまとめる	
	第3回	内容	神話のテーマ②古事記	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す	
				復習	授業の内容をノートにまとめる	
	第4回	内容	神話のテーマ③古事記	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す	
				復習	授業の内容をノートにまとめる	
	第5回	内容	和歌のテーマ①万葉集	予習	万葉集に関する資料と1年次のノートを整理する	
				復習	授業の内容をノートにまとめる	
	第6回	内容	和歌のテーマ②万葉集	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す	
				復習	授業の内容をノートにまとめる	
	第7回	内容	和歌のテーマ③万葉集	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す	
				復習	授業の内容をノートにまとめる	
	第8回	内容	物語のテーマ～①竹取物語	予習	竹取物語について調べて疑問点を書き出す	
				復習	授業の内容をノートにまとめる	
	第9回	内容	物語のテーマ②源氏物語	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す	
				復習	授業の内容をノートにまとめる	
	第10回	内容	物語のテーマ③源氏物語	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す	
				復習	授業の内容をノートにまとめる	
第11回	内容	説話のテーマ①宇治拾遺物語	予習	宇治拾遺物語について調べて疑問点を書き出す		
			復習	授業の内容をノートにまとめる		
第12回	内容	説話のテーマ②宇治拾遺物語	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す		
			復習	授業の内容をノートにまとめる		
第13回	内容	説話のテーマ③宇治拾遺物語	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す		
			復習	授業の内容をノートにまとめる		
第14回	内容	歌謡のテーマ～梁塵秘抄・閑吟集	予習	中世歌謡について調べて疑問点を書き出す		
			復習	授業の内容をノートにまとめる		
第15回	内容	近代文学のテーマ①宮沢賢治	予習	宮沢賢治に関する情報を整理する		
			復習	授業の内容をノートにまとめる		
第16回	内容	近代文学のテーマ②宮沢賢治	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す		
			復習	授業の内容をノートにまとめる		
第17回	内容	近代文学のテーマ～小泉八雲	予習	小泉八雲に関する情報を整理する		
			復習	授業の内容をノートにまとめる		
第18回	内容	民俗文化のテーマ①柳田国男と遠野物語	予習	遠野物語を読んで疑問点を書き出す		
			復習	授業の内容をノートにまとめる		
第19回	内容	民俗文化のテーマ②柳田国男と遠野物語	予習	遠野物語を読んで疑問点を書き出す		
			復習	授業の内容をノートにまとめる		
第20回	内容	歴史・風土のテーマ①	予習	「風土と文化」の資料・ノートを整理する		
			復習	授業の内容をノートにまとめる		

第 21 回	内容	歴史・風土のテーマ②	予習	提示された問題について考察する
			復習	授業の内容をノートにまとめる
第 22 回	内容	歴史・風土のテーマ③	予習	提示された問題について考察する
			復習	授業の内容をノートにまとめる
第 23 回	内容	テーマの決定	予習	テーマ説明のための資料を準備する
			復習	自身への質問・意見をまとめる
第 24 回	内容	決定したテーマに応じた個別指導①	予習	疑問点を整理しておく
			復習	指摘された内容をノートにまとめる
第 25 回	内容	決定したテーマに応じた個別指導①	予習	疑問点を整理しておく
			復習	指摘された内容をノートにまとめる
第 26 回	内容	決定したテーマに応じた個別指導②	予習	疑問点を整理しておく
			復習	指摘された内容をノートにまとめる
第 27 回	内容	中間発表会	予習	これまでの成果を発表できるようまとめておく
			復習	自身への質問・意見などをまとめ整理する
第 28 回	内容	決定したテーマに応じた個別指導③	予習	疑問点を整理しておく
			復習	指摘された内容をノートにまとめる
第 29 回	内容	決定したテーマに応じた個別指導④	予習	疑問点を整理しておく
			復習	指摘された内容をノートにまとめる
第 30 回	内容	授業の終了にあたって	予習	論文、作品を完成する
			復習	相互に意見を交換し成果を共有する
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	課題提出時に個別に説明			
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（ 70 %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ 30 %）			
教科書	特に定めない			
参考文献	必要に応じて指示する			
注意事項	主体性をもって取り組むこと			

科目名	ゼミナールⅡ		単位数	2	実務経験	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	SEM3231		授業形態	演習			
授業の内容	本ゼミナールではコンピュータに関連する事柄をテーマとします。Java プログラミング、動画編集、ホームページ作成を学び、コンピュータに関わる内容から各自のテーマを見つけ、研究・作品制作を進めていきます。授業内では ICT を活用し、スマートフォンやタブレットを用いて、発表やコメントなど双方向型授業も行なっていきます。						
到達目標	1. 関心のあるテーマを見つけることができる。 2. 各自のテーマに沿って、研究や作品制作を進めることができる。 3. 自らの考えを分かりやすく発表できる。 4. 研究や作品制作を進めるためのコンピュータ技術を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2,3 ）						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	Java プログラミング① クラス機能	予習	Java のクラス機能について調べる		
				復習	クラス機能について復習する		
	第3回	内容	Java プログラミング② ブロック崩しゲームの作成	予習	ブロック崩しゲームについて調べる		
				復習	Java の画面作成について復習する		
	第4回	内容	Java プログラミング③ ブロック崩しゲームの作成	予習	ボールの動きの仕組みについて調べる		
				復習	ボールの動きのプログラムを復習する		
	第5回	内容	Java プログラミング④ ブロック崩しゲームの作成	予習	点数の付け方について調べる		
				復習	ブロック崩しのプログラムについて復習する		
	第6回	内容	動画編集① AviUt1 の基本操作、図形・画像を動かす	予習	AviUt1 について調べる		
				復習	AviUt1 の操作を復習する		
	第7回	内容	動画編集② 3D 空間で動かす	予習	3D 空間の軸について調べる		
				復習	3D 空間の設定の仕方を復習する		
	第8回	内容	動画編集③ 作品作成	予習	動画の作品の構想を考える		
				復習	動画の作り方を復習する		
	第9回	内容	動画編集④ 作品作成	予習	動画のシーンについて考える		
				復習	作成した動画について振り返る		
	第10回	内容	ホームページ作成① ブログシステム WordPress の操作	予習	WordPress について調べる		
				復習	WordPress の操作を復習する		
	第11回	内容	ホームページ作成② WordPress のスタイルシート・レイアウト編集	予習	WordPress のスタイルシートについて調べる		
				復習	WordPress の編集について復習する		
	第12回	内容	ホームページ作成③ WordPress のデザイン編集	予習	WordPress のデザインについて調べる		
				復習	WordPress のデザイン編集方法を復習する		
	第13回	内容	ホームページ作成④ WordPress のデザイン編集	予習	WordPress のデザインの素材を探す		
				復習	作成したデザインについて振り返る		
	第14回	内容	コミュニケーション能力向上のためのグループワーク	予習	グループワークで行なうテーマについて調べる		
				復習	グループワークを振り返る		
	第15回	内容	研究・作品制作のテーマの検討	予習	興味のあるコンピュータ技術について調べる		
				復習	興味あるテーマを整理する		
	第16回	内容	研究・作品制作のテーマの発表・討議①	予習	研究・作品制作のテーマの発表の準備をする		
				復習	研究・作品制作のテーマの発表を振り返る		
	第17回	内容	研究・作品制作のテーマの発表・討議②	予習	研究・作品制作のテーマの発表の準備をする		
				復習	研究・作品制作のテーマの発表を振り返る		
	第18回	内容	研究・作品制作のテーマの発表・討議③	予習	研究・作品制作のテーマの発表の準備をする		
				復習	研究・作品制作のテーマの発表を振り返る		
	第19回	内容	研究・作品制作のテーマ決定	予習	研究・作品制作のテーマの詳細を詰める		
				復習	研究・作品制作の計画を考える		
	第20回	内容	研究・作品制作の個別指導と討議①	予習	研究・作品制作の進捗を確認する		
				復習	研究・作品制作の状況をまとめる		

第 21 回	内容	研究・作品制作の個別指導と討議②	予習	研究・作品制作の進捗を確認する
			復習	研究・作品制作の状況をまとめる
第 22 回	内容	研究・作品制作の個別指導と討議③	予習	研究・作品制作の進捗を確認する
			復習	研究・作品制作の状況をまとめる
第 23 回	内容	研究・作品制作の個別指導と討議④	予習	研究・作品制作の進捗を確認する
			復習	研究・作品制作の状況をまとめる
第 24 回	内容	研究・作品制作の個別指導と討議⑤	予習	研究・作品制作の進捗を確認する
			復習	研究・作品制作の状況をまとめる
第 25 回	内容	研究・作品制作の個別指導と討議⑥	予習	研究・作品制作の進捗を確認する
			復習	研究・作品制作の状況をまとめる
第 26 回	内容	研究・作品制作の個別指導と討議⑦	予習	研究・作品制作の進捗を確認する
			復習	研究・作品制作の状況をまとめる
第 27 回	内容	研究・作品制作の個別指導と討議⑧	予習	研究・作品制作の進捗を確認する
			復習	研究・作品制作の状況をまとめる
第 28 回	内容	研究・作品制作の成果発表と資料作成①	予習	研究・作品制作の状況を整理する
			復習	研究・作品制作の成果発表を振り返る
第 29 回	内容	研究・作品制作の成果発表と資料作成②	予習	研究・作品制作の状況を整理する
			復習	研究・作品制作の成果発表を振り返る
第 30 回	内容	研究・作品制作の成果発表と資料作成③	予習	研究・作品制作の状況を整理する
			復習	研究・作品制作の成果発表を振り返る
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	課題や研究・作品、発表への講評を行ないます。			
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（30%）、作品・発表（30%）、授業態度（40%）			
教科書	プリントまたはPDF形式のファイルを配布します。			
参考文献	なし			
注意事項	なし			

科目名	ゼミナールⅡ		単位数	2	実務経験	担当教員	なかにし きわ 中西 希和
ナンバリングコード	SEM3231		授業形態	演習			
授業の内容	ファッション文化、ファッションビジネス等に関わる内容から各自のテーマを見つけ、調査、研究を進め、論文または作品とレポートにまとめていきます。調査、研究を通してファッションに関わる様々な問題について考察し、得られた知識を実生活や社会において活用していくことを考えます。						
到達目標	1. 関心のあるテーマを見つけることができる 2. 各自のテーマに沿って、調査、研究を進めることができる 3. 調査、研究を進め、成果をまとめる						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1,2,3 ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション、小物制作	予習	制作方法を確認する		
				復習	内容を復習する		
	第2回	内容	ファッション関連文献の輪読①	予習	指定された文献を読む		
				復習	ノートをもとに内容を確認する		
	第3回	内容	ファッション関連文献の輪読②	予習	わからない箇所を調べておく		
				復習	ノートをもとに内容を確認する		
	第4回	内容	ファッション関連文献の輪読③	予習	要点をまとめる		
				復習	ノートをもとに内容を確認する		
	第5回	内容	ファッションに関する資料の歴史	予習	ファッション情報の入手方法を調べる		
				復習	ファッション情報の歴史を理解する		
	第6回	内容	ファッションに関する資料の調査	予習	ファッション雑誌を読む		
				復習	調査結果を理解する		
	第7回	内容	様々な装飾・アレンジ方法の基礎練習	予習	必要な道具等を準備する		
				復習	装飾・アレンジ方法を確認する		
	第8回	内容	小物制作①	予習	必要な道具等を準備する		
				復習	装飾・アレンジ方法を確認する		
	第9回	内容	小物制作②	予習	制作方法を確認する		
				復習	内容を復習する		
	第10回	内容	資料、研究方法を検討する	予習	関心・興味のあることを整理しておく		
				復習	研究方法を確認する		
第11回	内容	調査を行う	予習	調査内容を確認する			
			復習	調査内容を整理する			
第12回	内容	テーマを決める	予習	テーマについて考える			
			復習	テーマを再確認する			
第13回	内容	資料、研究方法を決める	予習	資料を収集する			
			復習	資料を読む			
第14回	内容	調査を進める①	予習	計画を立てる			
			復習	調査結果を整理する			
第15回	内容	調査を進める②	予習	調査資料を確認する			
			復習	調査結果を整理する			
第16回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導①	予習	調査資料を確認する			
			復習	調査結果を整理する			
第17回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導②	予習	調査資料を確認する			
			復習	調査結果を整理する			
第18回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導③	予習	調査資料を確認する			
			復習	調査結果を整理する			
第19回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導④	予習	調査資料を確認する			
			復習	調査結果を整理する			
第20回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導⑤	予習	調査資料を確認する			
			復習	調査結果を整理する			

	第 21 回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導⑥	予習	調査資料を確認する
				復習	調査結果を整理する
	第 22 回	内容	中間報告	予習	報告のための準備をする
				復習	内容を整理し、計画を立てる
	第 23 回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導⑦	予習	文章にまとめる
				復習	文章を確認する
	第 24 回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導⑧	予習	文章にまとめる
				復習	文章を確認する
	第 25 回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導⑨	予習	文章にまとめる
				復習	文章を確認する
	第 26 回	内容	仕上げ、まとめ①	予習	次回の準備をする
				復習	内容を確認する
	第 27 回	内容	仕上げ、まとめ②	予習	次回の準備をする
				復習	内容を確認する
	第 28 回	内容	仕上げ、まとめ③	予習	次回の準備をする
				復習	内容を確認する
	第 29 回	内容	仕上げ、まとめ④	予習	次回の準備をする
				復習	内容を確認する
	第 30 回	内容	提出、発表	予習	内容を確認し、準備をする
				復習	実生活において活用する
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	課題・作品の講評、授業の振り返りを行います。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 課題・作品（60%）、発表（20%）、授業態度（20%）				
教科書	なし。必要に応じ、プリントを配布します。				
参考文献	授業の中で随時、紹介します。				
注意事項					

科目名	女性文化論		単位数	2	実務経験	担当教員 なかにし きわ 中西 希和
ナンバリングコード	LC311		授業形態	講義		
授業の内容	歴史を振り返ると、女性は地位や様々な権利を制限されてきたといえ、それは服装からも読み取ることができます。この授業では女性がこれまでどのような問題に直面し、取り組んできたのか、それによって女性の生き方がどのように変わってきたのかを当時の女性の服装から探っていきます。そして、様々な場面における女性の役割を考え、将来自立した女性として生きていく際に直面する諸問題に対応していく力を身につけることを目指します。					
到達目標	1. 女性が築いてきた文化を理解している 2. 取り上げるテーマを自分自身の問題として考えることができる					
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (1, 4)					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この授業で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	少女から女性へ 子ども服の歴史	予習	子ども服について調べる	
				復習	子ども服の歴史について理解する	
	第3回	内容	女性の身体に対する意識の変化① スポーツウェアの歴史	予習	スポーツウェアについて調べる	
				復習	スポーツウェアの歴史について理解する	
	第4回	内容	女性の身体に対する意識の変化② 下着の歴史	予習	下着の歴史について調べる	
				復習	下着の歴史について理解する	
	第5回	内容	服装におけるジェンダー① 女性解放運動	予習	女性解放運動について調べる	
				復習	女性解放運動について理解する	
	第6回	内容	服装におけるジェンダー② スカート、パンツ	予習	ジェンダーについて調べる	
				復習	服装におけるジェンダーについてまとめる	
	第7回	内容	日本人女性の服装 和装から洋装への変化	予習	日本の開国について調べる	
				復習	日本における洋装化について理解する	
	第8回	内容	女性と教育 女子学校制服、女子大学の創立者と建学の精神	予習	建学の精神について考える	
				復習	女子学校制服の変遷について理解する	
第9回	内容	様々な結婚① 結婚式の種類	予習	結婚式について調べる		
			復習	結婚式の種類についてまとめる		
第10回	内容	様々な結婚② 婚礼衣装の歴史	予習	婚礼衣装について調べる		
			復習	婚礼衣装の歴史を理解する		
第11回	内容	女性の働き方① アンパイド・ワーク	予習	女性の働き方について調べる		
			復習	女性の働き方を理解する		
第12回	内容	家庭経営と男女の役割	予習	家庭内での仕事について調べる		
			復習	家庭における男女の役割について考える		
第13回	内容	女性の働き方② ペイド・ワーク	予習	日本の女性の働き方について調べる		
			復習	将来の働き方について考える		
第14回	内容	女性の働き方③ 他国との比較 アメリカやヨーロッパの実態	予習	外国の女性の働き方について調べる		
			復習	女性の働き方についてレポートにまとめる		
第15回	内容	授業の振り返りとまとめ	予習	配布プリントを整理しておく		
			復習	内容を復習し、将来について考える		
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、解説と授業の振り返りを行います。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：筆記試験 (30%)、レポート・課題 (30%)、授業態度 (40%)					
教科書	なし。必要に応じ、プリントを配布します。					
参考文献	授業の中で随時、紹介します。					
注意事項	図像資料を紹介しながら授業を行うため、パワーポイント、DVDを使用します。					

科目名	女性文学を読む	単位数	2	実務経験	担当教員 こしみず ゆうこ 小清水 裕子
ナンバリングコード	LC411	授業形態	演習		
授業の内容	女性特有の表現などに注意しながら女性文学の作品を読解し、作品や作者について理解を深める。フェミニズムやジェンダーの視点などを持って作品に関わる姿勢を養い、女性文学の研究に関する基礎的な事柄について理解することを目的とする。				
到達目標	1. 女性文学の作品を読解して考察したことを表現することができる。 2. 女性文学の研究についての基礎的な事項を理解している。 3. 女性文学の特性について理解している。				
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1・2・3）				
授業計画	第1回	内容	ガイダンス、女性文学の研究の基礎	予習	シラバスを読んでおく
				復習	習得する内容について確認する
	第2回	内容	樋口一葉「にぎりえ」	予習	作品を読む
				復習	作品と作者について整理する
	第3回	内容	与謝野晶子「みだれ髪」	予習	作品を読む
				復習	作品と作者について整理する
	第4回	内容	吉屋信子「花物語」	予習	作品を読む
				復習	作品と作者について整理する
	第5回	内容	壺井栄「坂道」	予習	作品を読む
				復習	作品と作者について整理する
	第6回	内容	岡本かの子「生々流転」	予習	作品を読む
				復習	作品と作者について整理する
	第7回	内容	森茉莉「父の帽子」	予習	作品を読む
				復習	作品と作者について整理する
	第8回	内容	林芙美子「放浪記」	予習	作品を読む
				復習	作品と作者について整理する
第9回	内容	宇野千代「おはん」	予習	作品を読む	
			復習	作品と作者について整理する	
第10回	内容	幸田文「台所の音」	予習	作品を読む	
			復習	作品と作者について整理する	
第11回	内容	大庭みな子「三匹の蟹」	予習	作品を読む	
			復習	作品と作者について整理する	
第12回	内容	吉本ばなな「キッチン」	予習	作品を読む	
			復習	作品と作者について整理する	
第13回	内容	江國香織「冷静と情熱の間」	予習	作品を読む	
			復習	作品と作者について整理する	
第14回	内容	綿矢りさ「蹴りたい背中」	予習	作品を読む	
			復習	作品と作者について整理する	
第15回	内容	女性文学のまとめ	予習	今まで読解した作品と作者を整理する	
			復習	作品のジャンルや近代文学史を整理する	
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。					
課題へのフィードバック	作成したレポート及び、発表にコメントをする				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（50%）、作品・発表（50%）				
教科書	事前に提示する				
参考文献	適宜提示する				
注意事項	毎回テーマに沿ったレポートを作成します。				

科目名	プレゼンテーション		単位数	2	実務経験	担当教員 やまぐち ひろみ 山口 博美
ナンバリングコード	CT421		授業形態	演習		
授業の内容	自己表現力の最終段階のスキルとして、自己の意見や感情、企画や効果について訴え、相手に正しく理解してもらい行動させる力を身につけることが、プレゼンテーションの目標である。授業で行う多くのゲームやロールプレーを通し自己理解から自分の魅力を引き出し、社会に適応してゆく力を身につける。					
到達目標	1. 集団プレゼンテーション体験やコミュニケーションゲームから自己の魅力を知り、他の授業や就職活動に生かすことができる。 2. コミュニケーションの基礎を身につけ、自己の特色を表現するスキルを体得している。 3. 相手に納得してもらえ、社会性豊かなプレゼンテーションを実施できるスキルを身につけている。					
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1・2・3・4 ）					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション		予習	自己紹介を書いてくる
			講義の概要説明		復習	目標・受講のルール・評価基準をまとめる
	第2回	内容	プレゼンテーション設計とは		予習	東京オリンピック、ノーベル賞のプレゼンを見る
					復習	姿勢、声、症状、態度、服装についてまとめる
	第3回	内容	オリエンテーション 講義の概略説明		予習	自己プレゼンテーションの企画
					復習	他者と比較し長所改善点をまとめる
	第4回	内容	プレゼンテーションの挑戦（インタビューゲーム）		予習	NHKのアナウンサーのインタビューを調べる
					復習	インタビュースキルをまとめる
	第5回	内容	傾聴力と情報収集力を養う「匠の里」		予習	テレビのニュースとフェイクニュースについて調べる
					復習	ゲームを通して自己の話し方をまとめる
	第6回	内容	決定力、優先順位の決め方「船長の決断」		予習	自己の決定すべき問題の順位を調べる
					復習	自己の発言力と説得力についてまとめる
	第7回	内容	ディベート準備①ブレインストーミング テーマについてと進め方について		予習	ディベートの意味について調べる
					復習	テーマについて意見をまとめる
	第8回	内容	グループでディベート実践		予習	ディベートの効果について調べる
					復習	自己の役割と発言についてまとめる
	第9回	内容	ディベート② 新聞記事からテーマを取る		予習	新聞記事を調べる
					復習	新聞記事から意見をまとめる
	第10回	内容	グループでディベート実践		予習	テーマの論点を調べる
					復習	グループの成功・改善点をまとめる
	第11回	内容	「私とは・・・」自己分析から自己理解		予習	自己分析のプリントを調べる
					復習	プレゼンの準備書をまとめる
	第12回	内容	パワーポイントを使用して仕上げ、 発表①		予習	何を訴えるか、強調の論点を調べる
					復習	他者の発表の評価記入
	第13回	内容	発表②		予習	プレゼン練習をしてくる
					復習	他者の発表の評価記入、まとめる
	第14回	内容	企業研究 履歴書と志望動機、自己PR		予習	自己PRの内容を調べる
					復習	企業研究をまとめる
	第15回	内容	企業面接 個人面接 評価について		予習	希望職種について調べる
					復習	面接評価についてまとめる
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	毎回の発表やレポートを採点しコメントする					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（ ）、作品・発表（ 60 ）、実技（ 30 ）、授業態度（ 20 ）					
教科書	『書名』（著者名、出版社名）					
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）					
注意事項						

科目名	異文化コミュニケーション		単位数	2	実務経験	担当教員	まつお のぶこ 松尾 信子
ナンバリングコード	CUL3131		授業形態	講義			
授業の内容	日本での常識が外国では通用しないことが多数あり、日本人同士でも年齢や性別、職業や地位、出身地によって文化や価値観に違いがあります。この授業では、文化的背景を異にする者同士が相手の立場からコミュニケーションを取るために、複数の地域の文化を考える力を養い、文化の交流に積極的に取り組む姿勢を身につけます。						
到達目標	1. 世界の国々のさまざまな文化の違いを説明できる。 2. 異文化の人びとに日本の魅力を伝えることができる。 3. 外国語に関心をもち、異文化の人びととコミュニケーションが取れるようになる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（1, 2, 3）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく		
			異文化による問題発生の事例研究	復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	異文化コミュニケーションの基礎概念	予習	文化とは何かについて調べる		
				復習	異文化コミュニケーションの意味をまとめる		
	第3回	内容	異文化コミュニケーションにおける重要キーワード	予習	新聞やニュースから海外の出来事を調べる		
				復習	場所・社会的状況、歴史などの影響をまとめる		
	第4回	内容	自己とアイデンティティ	予習	アイデンティティの意味を調べる		
				復習	アイデンティティと自己概念の理解とまとめ		
	第5回	内容	社会・文化的アイデンティティ	予習	新聞やニュースから海外の出来事を調べる		
				復習	社会や文化が与える影響についてまとめる		
	第6回	内容	異文化コミュニケーションの衝撃 [グループワーク] 日本国内で起きる摩擦の事例研究①	予習	事例について考えをまとめ、発表の準備をする		
				復習	偏見や差別等の障壁について考えをまとめる		
	第7回	内容	文化的価値の学習過程 [グループワーク] 日本国内で起きる摩擦の事例研究②	予習	事例について考えをまとめ、発表の準備をする		
				復習	文化的価値の共有と継承の仕組みをまとめる		
	第8回	内容	宗教・文化・芸術との関係性 [グループワーク] 世界の五大宗教についての調査研究	予習	新聞等から異文化間の宗教の問題を調べる		
				復習	関心のある宗教について調べ、まとめる		
第9回	内容	政治・教育・産業との関係性 [グループワーク] 宗教についての発表と比較研究	予習	新聞等から異文化間の政治の問題を調べる			
			復習	宗教や主義の違いがもたらす影響をまとめる			
第10回	内容	日本の歴史や文化等を通して自国を見直す [グループワーク] 外国語の日常&旅行会話修得（挨拶）	予習	外国語による挨拶について調べる			
			復習	日本の歴史・文化について考えをまとめる			
第11回	内容	コミュニケーションスタイルの多様性 [グループワーク] 外国語の日常&旅行会話（自己紹介）	予習	外国語による自己紹介を考える			
			復習	個人差と文化差について意見をまとめる			
第12回	内容	コミュニケーションとノンバーバルコミュニケーション [グループワーク] 外国語の日常&旅行会話（質問対応）	予習	外国語での質問に対する回答について調べる			
			復習	ノンバーバルコミュニケーションの重要性についてまとめる			
第13回	内容	相互理解を図るための話し方と聞き方 [グループワーク] 外国語の日常&旅行会話（日本食紹介）	予習	外国語による日本食の紹介を考える			
			復習	相互理解を図るために必要な要素をまとめる			
第14回	内容	コミュニケーションを取る際の注意点と心構え [グループワーク] 外国語の日常&旅行会話（観光地紹介）	予習	外国語による観光地の紹介を考える			
			復習	訪日客に対する配慮について考えをまとめる			
第15回	内容	新聞やニュースから現在の世界の状況を把握する 授業の総括と演習	予習	新聞等から異文化間の問題を調べる			
			復習	異文化理解に関する今後の取組みをまとめる			
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。							
課題へのフィードバック	レポートや課題に対する提出物に関しては、その都度、ランク付けとコメントを添付して返却します。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（40%）、作品・発表（40%）、授業態度（20%）						
教科書	なし						
参考文献	なし						
注意事項	1. 始業時間は厳守してください。レジュメやレポート課題は毎回インターネットで配信します。 2. 授業は毎回、演習やグループワークを取り入れた全員参加型ですので、楽しく活発になるように協力してください。						

科目名	マンガ創作		単位数	2	実務経験	担当教員 いいだ こういちろう 飯田 耕一郎
カンパリコード*	MAC3232		授業形態	演習	有	
授業の内容	物語をつくるための創作技法の理解。 実際にコマを割ってマンガ作品を創作します。 そのためのコマ割りの技術を学んでいきます。					
到達目標	1. マンガの描き方の流れを学び、ペンを使いコマを割って創作作品をひとつ仕上げること。 2. 自由イラストを制作すること。 3. 生徒全員で同人誌を制作すること。 4.					
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2・4)					
授業計画	第1回	内容	【マンガ制作の流れ】 制作プロセスを理解します。	予習	シラバスを確認する。	
				復習	課題テーマを再確認。	
	第2回	内容	【コマ割りの理解①】 コマを割って課題とともに学びます。	予習	物語を考えてみる。	
				復習	課題テーマを再確認。	
	第3回	内容	【コマ割りの理解②】 コマに分割していく流れを学びます。	予習	物語を考えてみる。	
				復習	課題テーマを再確認。	
	第4回	内容	【コマ割りの理解③】 コマを読む進める流れを学びます。	予習	物語を考えてみる。	
				復習	課題テーマを再確認。	
	第5回	内容	【プロット作り】 オリジナルのあらすじを考えましょう。	予習	物語を考えてみる。	
				復習	物語を煮詰める。	
	第6回	内容	【ストーリー作り①】 それを物語にしていきます。	予習	物語を考えてみる。	
				復習	物語を煮詰める。	
	第7回	内容	【ストーリー作り②】 ネームという作業を学びます。	予習	物語を考えてみる。	
				復習	物語を煮詰める。	
	第8回	内容	【課題を元にコマを割る】 コマを実際に割って見ます。	予習	物語を煮詰める。	
				復習	物語を煮詰める。	
第9回	内容	【課題を元にコマを割る】 アドバイスと共に完成させます。	予習	物語を煮詰める。		
			復習	作品再確認。		
第10回	内容	【ペン入れ①】 ペンの基礎を学びます。	予習	線を引く練習をする。		
			復習	課題テーマをあらたに描いてみる。		
第11回	内容	【ペン入れ②】 ペンのケアミなどを学びます。	予習	線を引く練習をする。		
			復習	課題テーマをあらたに描いてみる。		
第12回	内容	【ペン入れ③】 ペンの定規線を学びます。	予習	定規を使って線を引く練習をする。		
			復習	課題テーマをあらたに描いてみる。		
第13回	内容	【原稿用紙を使って描く】 原稿用紙に下描きをしてみます。	予習	原稿用紙の再確認。		
			復習	作品再確認。		
第14回	内容	【原稿用紙を使って描く】 原稿用紙にペン入れをしてみます。	予習	ペンを使う練習をする。		
			復習	作品再確認。		
第15回	内容	【作品講評】 アドバイス。	予習	仕上げ。		
			復習	作品再確認。		
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題作品にたいしてのアドバイスによる修正点、上達ポイントを指摘することでより向上を目指します。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：筆記試験 (0%)、レポート・課題 (30%)、作品・発表 (40%)、実技 (20%)、授業態度 (10%)					
教科書	なし					
参考文献	なし					
注意事項	※担当教員は、漫画編集部勤務を経て、漫画家として活動する傍ら、日本マンガ塾講師を務める実務家教員である。					

科目名	ルポルタージュ入門	単位数	2	実務経験		担当教員 ひだ あつこ 植田 敦子
カンパリコード*	CE421	授業形態	講義			
授業の内容	ルポルタージュとは、フィクションではない、取材を重ねて作り上げる記事のこと。人物あるいは社会問題など、記事になるようなものを調べ、取材し、フィードバックして、文章に落とし込む作業を目標にする。何人かのグループによる作業になるが、判断力、構成力、表現力を向上させる指導をする。実際にルポルタージュを読んでもみる。					
到達目標	1. 課題に対して思考力を深める。 2. ファクトチェックも含めて、徹底的な取材、調査による事実とは何かを見極める。 3. 執筆作業を通じて文章表現力を高める。 4. 取材を通してコミュニケーション力、判断力を身に着けられるように指導する。					
学位授与方針	幼児教育学科（ 2,3 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2, 3, 4 ）					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション。自著を参考にしてルポルタージュとは何かを説明していく。	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	授業内容を理解する。	
	第2回	内容	どういったものを題材にしたらいいのか。	予習	ルポに目を通す。	
				復習	授業内容を理解する。	
	第3回	内容	取材するにあたっての一般的な作法、注意。	予習	小説以外の本を読む。	
				復習	授業内容を理解する。	
	第4回	内容	取材会議。1班2～3人程度。	予習	小説以外の本を読む。	
				復習	授業内容を理解する。	
	第5回	内容	取材依頼書の書き方。取材ノートの作成。	予習	これまでの振り返り。	
				復習	授業内容を理解する。	
	第6回	内容	取材①	予習	これまでの振り返り。	
				復習	授業内容を理解する。	
	第7回	内容	取材②	予習	これまでの振り返り。	
				復習	授業内容を理解する。	
	第8回	内容	ルポの書き方。どのように書いていくか。	予習	ルポを読む。	
				復習	授業内容を理解する。	
第9回	内容	補足の取材	予習	取材ノートの読み返し。		
			復習	授業内容を理解する。		
第10回	内容	執筆へのアプローチ。	予習	ルポを読む。		
			復習	授業内容を理解する。		
第11回	内容	執筆。	予習	これまでの振り返り。		
			復習	授業内容を理解する。		
第12回	内容	執筆。	予習	これまでの振り返り。		
			復習	授業内容を理解する。		
第13回	内容	編集して1本の作品に仕上げる。	予習	ルポの構成を再度考える。		
			復習	授業内容を理解する。		
第14回	内容	赤入れ後、見直し、手直し。	予習	作品の読み返し。		
			復習	授業内容を理解する。		
第15回	内容	出来上がった作品を発表・講評。	予習	最後の点検。		
			復習	授業のまとめ。		
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題が完成するまで粘りよく指導する。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（60%）、授業態度（40%）					
教科書	その都度プリントを配布する。					
参考文献	『調べる技術、書く技術』（野村進著、講談社現代新書）					
注意事項	授業を通して、自分自身の望ましい食生活の構築にも取り組んで欲しい。					

科目名	Webデザイン演習		単位数	2	実務経験	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	WED3231		授業形態	演習			
授業の内容	Web 関連科目の総括として、各自テーマを決めて、サイト制作を行う。 ターゲット、コンセプト、目的を明確にして、自らの思い描く Web サイトを完成させる。制作の一連の流れ（企画、設計、制作、運営）を通して、表現力と技術力を高めていく。						
到達目標	1. 情報の収集、分析を行うことができる 2. 適切な表現で情報を発信できる 3. 利用する人の視点からデザインを考案できる 4. 作品を公開、運用できる						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）						
授業計画	第1回	内容	Web サイト制作とプランニング	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	企画案を作成する		
	第2回	内容	企画の立案と情報収集	予習	情報収集を行う		
				復習	企画案を完成させる		
	第3回	内容	企画書の作成	予習	企画案を完成させる		
				復習	企画書を仕上げる		
	第4回	内容	グラフィックソフトでデザイン	予習	グラフィックソフトの使い方を調べる		
				復習	画像編集する		
	第5回	内容	ページデザイン修正	予習	画像編集する		
				復習	ページデザインを修正する		
	第6回	内容	Web 用画像素材への変換	予習	画像ファイル形式を調べて、整理しておく		
				復習	画像修正、編集を行う		
	第7回	内容	ディレクトリの配置	予習	サイト構成を考える		
				復習	サイト構成を見直す		
	第8回	内容	コーディング (HTML) トップページの内容をマークアップ	予習	トップページのコンテンツを準備する		
				復習	トップページの HTML を完成させる		
第9回	内容	コーディング (CSS)	予習	トップページの HTML を完成させる			
			復習	トップページの CSS を完成させる			
第10回	内容	トップページのレイアウトを整える	予習	トップページのレイアウトを完成させる			
			復習	トップページの修正をする			
第11回	内容	トップページのデザイン修正	予習	ヘッダーフッターの活用を考える			
			復習	下層ページの HTML を完成させる			
第12回	内容	コーディング (HTML) 下層ページの内容をマークアップ	予習	下層ページの HTML を完成させる			
			復習	下層ページの CSS を完成させる			
第13回	内容	コーディング (CSS)	予習	リンクの動きを確認する			
			復習	レイアウトの見直しをする			
第14回	内容	下層ページのレイアウトを整える	予習	文章の見直しをする			
			復習	デザインの修正を行う			
第15回	内容	リンク設定とレイアウトの見直し	予習	各ブラウザでの表示を確認する			
			復習	ネット上での動作確認をする			
予習に要する学習時間：概ね10分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね40分を目安とする。							
課題へのフィードバック	作品制作についてのコメント、アドバイス、評価は、個別対応する インターネット上で、既履修者及び履修者全員の作品公開を行う						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 課題（10%）、作品（70%）、授業態度（20%）						
教科書	なし						
参考文献	なし						
注意事項	1. 「Web サイト管理演習」の履修を終えていることが必要 2. 「ウェブデザイン実務士」を取得予定学生は、必ず履修すること 3. 作品制作には、授業時間外にも積極的に取組んでほしい						

科目名	Webサイト管理演習		単位数	2	実務経験	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	WED3221		授業形態	演習			
授業の内容	Webサイトの管理や運営について、理解を深めていく。 Webサイトの使い勝手のよさをWebユーザビリティという。利用者（ユーザ）がどれだけ快適に操作できるかという視点に立ち、色彩の基本や見やすさといったデザイン性や操作性、セキュリティなどを捉えながら、情報発信と管理の重要性を学ぶ。						
到達目標	1. Webサイトの運営や管理の知識を身につけている 2. Webサイトの効果的デザイン・レイアウトを理解できる 3. ユーザビリティの視点から、Webサイトのデザインを提案できる						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）						
授業計画	第1回	内容	Webサイトの基礎知識	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	デザインの基礎 画像・色彩・フォント	予習	Webユーザビリティについて調べる		
				復習	Webユーザビリティの事例をまとめる		
	第3回	内容	制作ツール① Web制作ソフト	予習	Web作成ソフトを調べる		
				復習	Web作成ソフトを使ってみる		
	第4回	内容	文章デザイン・ブロック配置とレイアウト	予習	見出しの重要性とデザインを調べる		
				復習	行間・文字間の重要性を考える		
	第5回	内容	制作ツール② グラフィックソフト	予習	グラフィックソフトを調べる		
				復習	グラフィックソフトを使ってみる		
	第6回	内容	カーニング・ボタン作成・写真の加工	予習	ボタンデザインを考える		
				復習	ボタンを作成する		
	第7回	内容	プランニング①ユーザの想定とデザインの方向性	予習	ユーザを想定してデザインの方向性を考える		
				復習	ユーザを想定してデザインの方向性を決める		
	第8回	内容	プランニング②サイトマップと色彩設計	予習	Webカラーについて調べる		
				復習	サイトマップを作成する		
第9回	内容	プランニング③ナビゲーション・ページサイズ	予習	パンくずリストについて調べる、			
			復習	ナビゲーションの種類と役割をまとめる			
第10回	内容	CSSでレイアウト①インラインレベルとブロックレベル	予習	CSSを使った見出しのデザインを考える			
			復習	インラインレベルとブロックレベルを理解する			
第11回	内容	CSSでレイアウト②ボックス・ボーダー・フロート	予習	CSSを使ったボーダーデザインを考える			
			復習	ボックスのサイズ計算を理解する			
第12回	内容	CSSでレイアウト③背景画像・リンク	予習	CSSを使ったボタンのデザインを考える			
			復習	作成課題のリンク動作を確認する			
第13回	内容	jQueryと動的サイト	予習	jQueryについて調べる			
			復習	動的サイトの効果をまとめる			
第14回	内容	SEO対策	予習	SEOとは何か調べる			
			復習	SEO対策についてまとめる			
第15回	内容	まとめ	予習	課題を完成させる			
			復習	課題の動作確認をする			
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題や作品制作について、コメント、アドバイスを個別に対応する						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 課題（20%）、作品（60%）、授業態度（20%）						
教科書	なし						
参考文献	なし						
注意事項	「Webデザイン」を履修済みで、HTML・CSSを理解していることが必要						

科目名	Webプログラミング		単位数	2	実務経験	担当教員 なかしま しゅんじ 中島 俊治
ナンバリングコード	WED3222		授業形態	講義		
授業の内容	<p>本講義では、Webプログラミングの基礎としての「JavaScript」を学ぶ。 「JavaScript」は、計算は勿論、Web ページのコンテンツやスタイルをコントロールが可能である。 それらの概要や技術的仕様に触れることを通じて、Web プログラミングの概要の説明やアプリケーション制作ができるようになる。</p>					
到達目標	1. 「Web プログラミング」の概要を理解し、説明できる。 2. 「JavaScript」の基本的な仕組みを理解し、説明できる。 3. 簡単な「Web アプリケーション」を自ら制作し、表現できる。 4. Web プログラミング技術に関する最新の知識を学修することができる。					
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2, 3)					
授業計画	第1回	内容	Web プログラミングの基礎知識	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	本科目の目的を再確認する	
	第2回	内容	HTML によるマークアップの方法	予習	作りたいプログラムをひとつ考える	
				復習	HTML の記述方法をまとめておく	
	第3回	内容	CSS によるスタイリングの方法	予習	テキストの当該範囲を予め目を通しておく	
				復習	CSS の記述方法をまとめておく	
	第4回	内容	JavaScript とは	予習	テキスト当該範囲のコードに目を通しておく	
				復習	JavaScript の記述方法をまとめておく	
	第5回	内容	ページに出力する方法	予習	第1回～第4回までを読み直しておく	
				復習	出力方法をまとめておく	
	第6回	内容	データを入力する	予習	身近なデータ保存を考える	
				復習	入力方法をまとめておく	
	第7回	内容	計算機アプリを作る	予習	どんな計算機アプリを作れるかを考える	
				復習	計算機アプリをオリジナル化する	
	第8回	内容	時計アプリを作る	予習	どんな時計アプリを作れるかを考える	
				復習	時計アプリをオリジナル化する	
第9回	内容	占いアプリを作る	予習	どんな占いアプリを作れるかを考える		
			復習	占いアプリをオリジナル化する		
第10回	内容	じゃんけんアプリを作る	予習	どんなじゃんけんアプリを作れるかを考える		
			復習	じゃんけんアプリをオリジナル化する		
第11回	内容	効果音・映像を取り込む	予習	アプリ内の効果音・映像の効果を考える		
			復習	じゃんけんアプリに効果音を追加する		
第12回	内容	データを保存する	予習	データの保存の効果を考える		
			復習	じゃんけんアプリにデータ保存機能を追加		
第13回	内容	マウス・タッチの座標の取得	予習	マウス入力の実現性について考える		
			復習	マウスを使ったアプリをオリジナル化する		
第14回	内容	図形を描画する	予習	図形描画アプリの効率について考える		
			復習	描画を用いた時計アプリを作る		
第15回	内容	Web プログラミングのまとめ	予習	自分はどんなアプリを作れるかを考える		
			復習	オリジナルのアプリを実際に作ってみる		
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> 作成したプログラムに都度コメントを行う。 期末試験後に問題の解説を行う。 					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 (○) する / () しない 成績評価の方法：筆記試験 (50 %)、レポート・課題 () %、作品・発表 () %、実技 () %、授業態度 (50 %)					
教科書	『書名』(著者名、出版社名) なし					
参考文献	『書名』(著者名、出版社名) なし					
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> PC 操作、キーボードの英字、数字等の入力に支障がないことを前提とする。 「どんなアプリケーションを作ろうか」という思いを巡らせながら授業に臨むこと。 					

科目名	Webアニメーション演習		単位数	2	実務経験	担当教員 なかしま しゅんじ 中島 俊治
ナンバリングコード	WED3232		授業形態	演習		
授業の内容	最近、ホームページ上で画像や図形がアニメーションしているのを見かける。これは「CSS」というスタイリングの技術が、大幅に進化し容易にアニメーションが実現できるようになったためである。本科目ではその「CSS」を中心に様々なアニメーションの方法を学び「Webアニメーション」の表現方法を探求する。					
到達目標	1. 「Webアニメーション」概要について理解し、説明できる。 2. 「CSS」によるアニメーションの仕組みを理解できる。 3. 簡単なWebアニメーションを自ら制作し、表現できる。 4. Webスタイリング技術に関する最新の知識を学修することができる					
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2、3 ）					
授業計画	第1回	内容	Webアニメーションの基礎知識・様々なアニメーション手法	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	本科目の目的を再確認する	
	第2回	内容	Webを制作するための文法	予習	作りたいアニメーションをひとつ考える	
				復習	制作のための文法をまとめておく	
	第3回	内容	基本のCSSプロパティ(ボックスモデル)	予習	テキストの当該範囲を予め読んでおく	
				復習	基本のCSSのサンプルをオリジナル化する	
	第4回	内容	リッチなCSSプロパティ(影・角丸・グラデーション)	予習	ボックスモデルを再確認しておく	
				復習	影・角丸をオリジナル化する	
	第5回	内容	変形のCSSプロパティ	予習	身近な変形のアニメーションを探しておく	
				復習	変形の方法をまとめておく	
	第6回	内容	変形のCSSプロパティ(制作演習②)	予習	作りたい変形をひとつ考えておく	
				復習	変形のアニメーションをオリジナル化する	
	第7回	内容	遷移のCSSプロパティ(トランジション)	予習	変形の方法を再確認しておく	
				復習	トランジションの方法をまとめておく	
	第8回	内容	遷移のCSSプロパティ(制作演習①)	予習	作りたいものをひとつ考えておく	
				復習	アニメーションをオリジナル化する	
第9回	内容	アニメーションのCSSプロパティ	予習	身近なアニメーションを探しておく		
			復習	アニメーションの方法をまとめておく		
第10回	内容	アニメーションのCSSプロパティ(制作演習③)	予習	作りたいアニメーションを考えておく		
			復習	アニメーションをオリジナル化する		
第11回	内容	三次元のCSSプロパティ	予習	身近な三次元のアニメーションを探しておく		
			復習	三次元の方法をまとめておく		
第12回	内容	三次元のCSSプロパティ(制作演習④)	予習	作りたい三次元アニメーションを考えておく		
			復習	三次元アニメーションをオリジナル化する		
第13回	内容	JavaScriptとの連携	予習	JavaScriptについて再確認しておく		
			復習	JavaScript連携についてまとめておく		
第14回	内容	JavaScriptとの連携(制作演習⑤)	予習	作りたいJavaScript連携を考えておく		
			復習	JavaScript連携をさらにオリジナル化する		
第15回	内容	Webアニメーションのまとめ	予習	自分でどんなものが作れるかを考える		
			復習	オリジナルのアニメーションを実際にする		
予習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	・作成したアニメーション作品に都度コメントを行う。 ・期末試験後に問題の解説を行う					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、レポート・課題（%）、作品・発表（%）、実技（%）、授業態度（50%）					
教科書	『書名』（著者名、出版社名）なし					
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）なし					
注意事項	・PC操作、キーボードの英字、数字等の入力に支障がないことを前提とする。 ・「どんなアニメーションを作ろうか」という思いを巡らせながら授業に臨むこと。					

科目名	CG演習		単位数	2	実務経験	担当教員	よしい としまさ 吉井 利 眞
カンパリノコード	MUM3232		授業形態	演習			
授業の内容	3D・CGソフト（Shade）を利用し、3次元的な構想力と簡単な製図手法の習得をめざす。 3次元空間をパソコンの画面上でどのように把握し、表現することができるのかという基本的な感覚の把握を前提に、身近なもののデザインを行う						
到達目標	1. 空間座標による立体構造の把握ができ、自由にそれらを表現力できる。 2. CG制作にかかわる基本ツールや表現手法を利用できる。 3. CG制作演習を通して、現実の製作物の構造が想像できる。 4. 自己表現と、反省・修正ができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2・3 ）						
授業計画	第1回	内容	3次元空間の理解と表現	予習	上下、左右、前後から立体を眺めてみる		
				復習	演習ファイルの再確認		
	第2回	内容	製図の基本 作業用座標平面と見取り図	予習	缶コーヒーの見取り図をスケッチしておく		
				復習	演習ファイルの再確認		
	第3回	内容	基本製図作業① 各種ツールの理解	予習	アプリケーションのツールを確認		
				復習	演習ファイルの再操作		
	第4回	内容	基本製図作業② 各種形状の作成と編集	予習	基本図形の作成練習		
				復習	演習ファイルの再操作		
	第5回	内容	基本製図作業③ 掃引体と回転体	予習	アプリケーションのメニュー、ツールを確認		
				復習	演習ファイルの再操作		
	第6回	内容	課題への取り組み① テーブルと椅子の制作	予習	作図平面の再確認、線形状の作成練習		
				復習	操作内容の復習と課題の完成		
	第7回	内容	課題への取り組み② ガラスと液体の製作	予習	回転体作成の練習		
				復習	操作内容の復習と課題の完成		
	第8回	内容	課題への取り組み③ 材質の決定・ブーリアンレンダリング練習	予習	WEBでブーリアン演算についてチェックする		
				復習	操作内容の復習と課題の完成		
	第9回	内容	課題の提出相互評価	予習	課題の提出準備		
				復習	修正作業		
	第10回	内容	課題への取り組み④ 製品のデザイン	予習	作品の構想を練っておく		
				復習	指示された修正、変更点を確認		
	第11回	内容	課題への取り組み⑤ 図面への描きだし 丸めと回転	予習	WEBで自由曲面について調べておく		
				復習	演習ファイルの再操作		
	第12回	内容	課題への取り組み⑥ 図面への描きだし レンダリングと修正	予習	準備ファイルの完成度を上げておく		
				復習	指示された修正、変更点を確認		
	第13回	内容	課題への取り組み⑦ 細部の完成指導 テクスチャの貼付け	予習	準備ファイルの完成度を上げておく		
				復習	指示された修正、変更点を確認		
	第14回	内容	作品の提出と相互評価	予習	作品の完成準備		
				復習	修正作業を進める		
	第15回	内容	作品の修正と提出	予習	再提出の準備作業		
				復習	評価や問題点の確認		
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題へコメントする						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（50%）、作品・発表（50%）、実技（ %）、授業態度（ %）						
教科書	なし						
参考文献	なし						
注意事項	初心者向けの授業内容となりますので、楽しみながら授業を進めたいと思います。						

科目名	CG創作		単位数	2	実務経験	担当教員	よしい としまさ 吉井 利真
カンパリノコート	DR421		授業形態	演習			
授業の内容	CG 演習で習得した 3 DCG ソフトの基本操作を前提に、多様な形状をもつ複雑な立体像の制作に取り組みます。各自がテーマを決め、作品を作り上げていきます。最初にサンプルを全員で作成し、要領を覚えた段階で作品の制作に入っていきます。簡単な CG アニメーションの作成を行います。						
到達目標	1. 3 DCG を用いて、多様な表現ができる。 2. 簡単な工業製品の 3 D 設計ができる。 3. 作品をアニメーションムービーとして描き出すことができる。 4. 自己評価と反省・修正ができる。						
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2・3)						
授業計画	第 1 回	内容	サンプル作製① 簡単なモデルとアニメーション設定	予習	アプリケーションのメニュー、ツールを確認		
				復習	演習ファイルの再操作		
	第 2 回	内容	サンプル作製② アニメーションレンダリング	予習	アニメーション設定を確認		
				復習	演習ファイルの完成		
	第 3 回	内容	テーマについて企画、プレゼンテーション	予習	作品の構想を練ってくる		
				復習	修正点の確認		
	第 4 回	内容	作品作り 車輪の作成①	予習	タイヤの簡単な構造を把握しておく		
				復習	修正作業		
	第 5 回	内容	作品作り 車輪の作成②	予習	動きを想定しておく		
				復習	完成作業		
	第 6 回	内容	作品作り 自動車の作成①	予習	自動車の簡単な骨格を把握しておく		
				復習	修正作業		
	第 7 回	内容	作品作り 自動車の作成②	予習	作業ファイルの準備		
				復習	修正作業		
	第 8 回	内容	作品作り 自動車の作成③	予習	作業ファイルの準備		
				復習	修正、完成作業		
第 9 回	内容	作品作り 遊具の作成①	予習	回転する遊具を考えておく			
			復習	修正作業			
第 10 回	内容	作品作り 遊具の作成②	予習	複合回転する遊具を考えておく			
			復習	修正作業			
第 11 回	内容	作品作り 遊具の作成③	予習	大型遊具を考えておく			
			復習	修正作業			
第 12 回	内容	作品作り 遊具の作成④	予習	作業ファイルの準備を進める			
			復習	修正作業			
第 13 回	内容	ムービーへの描きだし 複数の視点での描きだし	予習	動きのタイムラインを考えておく			
			復習	修正作業			
第 14 回	内容	プレゼン、相互評価	予習	作品の完成準備			
			復習	修正作業を進める			
第 15 回	内容	作品の修正と提出	予習	再提出の準備作業			
			復習	評価や問題点の確認			
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題、作品へコメントする						
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：筆記試験 () %、レポート・課題 (50%)、作品・発表 (50%)、実技 () %、授業態度 () %						
教科書	なし						
参考文献	なし						
注意事項	空き時間を利用して進捗調整に努めましょう。						

科目名	ビデオ創作		単位数	2	実務経験	担当教員 たかはし かずお 高橋 一夫
ナンバリングコード	DR422		授業形態	演習		
授業の内容	YouTube の普及などで私たちの映像環境は日々進化し、スマホ撮影は日常的な行為になっている。それは楽しみながら自己表現力と情報発信力を育てる絶好の場にもなりえる。当講座では、お気に入りの写真や動画、音楽を組み合わせ、小型ドローン撮影なども含めた「動画で遊ぶ」事から始めて、人に伝わる表現スキルと撮影・編集の基本テクを学ぶ。					
到達目標	1. 企画／シナリオ作りができる 2. 撮影／カメラ、三脚などの基本操作ができる 3. 編集／パソコン、アプリの基本操作ができる					
学位授与方針	文化表現学科 (2・3)					
授業計画	第1回	内容	ビデオ作品制作の全体 (企画からM.A.、公開まで) / ビデオ編集の役割	予習	作品制作と編集について考える	
				復習	制作と編集についてレポートにまとめる	
	第2回	内容	ビデオ制作ツールにふれる①デジタルビデオカメラ・撮影の基本	予習	撮影ツールについて考える	
				復習	撮影ツールについてレポートにまとめる	
	第3回	内容	ビデオ制作ツールにふれる②編集アプリケーション/iMovie, Final Cut Pro	予習	編集アプリについて考える	
				復習	編集アプリについてレポートにまとめる	
	第4回	内容	企画を作る①どんなビデオ作品を作るか? 完成形をイメージする	予習	作品の完成形について考える	
				復習	作品の完成形についてレポートにまとめる	
	第5回	内容	企画を作る②企画構成案～シナリオ/脚本の書き方 わかりやすいということ	予習	脚本について考える	
				復習	脚本についてレポートにまとめる	
	第6回	内容	企画プレゼンテーション 人に伝える	予習	企画プレゼンについて考える	
				復習	企画プレゼンについてレポートにまとめる	
	第7回	内容	撮影準備 (カメラ・小型ドローンなどの基本操作 撮影計画)	予習	撮影準備について考える	
				復習	撮影準備についてレポートにまとめる	
	第8回	内容	撮影→取り込み (撮影した素材ファイルをパソコンに取り込む)	予習	素材取り込みについて考える	
				復習	素材取り込みについてレポートにまとめる	
	第9回	内容	編集の基本①操作 カット・ギャップを閉じる・エフェクトの基本	予習	編集操作について考える	
				復習	編集操作についてレポートにまとめる	
	第10回	内容	編集の基本②映像エフェクト ビデオトランジションとビデオフィルタ	予習	トランジションについて考える	
				復習	トランジションについてレポートにまとめる	
	第11回	内容	編集の基本③文字と音のエフェクト ビデオジェネレータとオーディオエフェクト	予習	文字と音について考える	
				復習	文字と音についてレポートにまとめる	
	第12回	内容	編集作業①基本の復習	予習	編集の基本について考える	
				復習	編集の基本についてレポートにまとめる	
	第13回	内容	編集作業②テロップの長さを決める	予習	テロップの長さについて考える	
				復習	テロップの長さについてレポートにまとめる	
	第14回	内容	編集作業③仕上げ・完成	予習	仕上げと完成について考える	
				復習	仕上げと完成についてレポートにまとめる	
	第15回	内容	まとめ・全体の復習	予習	作品全体について考える	
				復習	作品全体についてレポートにまとめる	
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	作成した作品にコメントを行う					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法： 筆記試験 (20%)、レポート・課題 (20%)、作品・発表 (20%)、実技 (20%)、授業態度 (20%)					
教科書	なし					
参考文献	『CG&映像しくみ事典』(永田豊志/CGWORLD、ワークスコーポレーション)、 『映画の瞬きー映像編集という仕事』(ウォルター・マーチ/吉田 俊太郎、フィルムアート社)					
注意事項	心や頭の中に浮かぶ形のないイメージを、映像と音を使って人に見てもらえる作品にすることで自己表現のノウハウを学んでほしい。					

科目名	DTPオペレーションⅠ		単位数	2	実務経験	担当教員 もりやま たかつぐ 森山 隆次	
ナンバリングコード	DR231		授業形態	演習			
授業の内容	今日様々な職場で必要とされる創造力を、コンピュータによるコンテンツ制作の実習を通じて養い、様々な業種において企画編集・デザイン・データ作成・文書管理といった専門職としても通じる、DTP（デスクトップパブリッシング）技術の習得と、コミュニケーション力のある人材の育成を目指す。						
到達目標	1. グラフィックアプリケーションソフトの操作知識を習得している。 2. グラフィックデザインおよび企画・編集・出版・印刷の知識を習得している。 3. 学期中に2点の課題作成およびデータの提出をしている。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ②・③ ）						
授業計画	第1回	内容	講習内容のオリエンテーション／講義（DTPの基礎知識）			予習	
					復習	第1回配布資料を熟読しDTP用語を理解する	
	第2回	内容	コンピュータ実習1/旅行会社が企画する海外ツアーのパンフレットの作成（以下A課題）「ソフトの基本操作」			予習	テーマ都市の旅行パンフレットを集める
					復習	グラフィックソフトの基本操作を反復する	
	第3回	内容	コンピュータ実習2/A課題の制作「画像の編集」			予習	テーマ都市の画像データを収集する
					復習	制作データの仕上がり画像の確認と修正する	
	第4回	内容	コンピュータ実習3/A課題の制作「テキスト編集」			予習	テーマ都市のプロフィールを調べる
					復習	制作データの仕上がりテキストの確認と修正する	
	第5回	内容	コンピュータ実習4/A課題の制作「地図の編集」			予習	テーマ都市の地図情報の収集する
					復習	制作データの仕上がり地図の確認と修正する	
	第6回	内容	コンピュータ実習5/A課題の制作「画像のレイアウト」			予習	資料の再確認による素材のチェックと再検討する
					復習	制作データの仕上がりレイアウト確認と修正する	
	第7回	内容	コンピュータ実習6/A課題の制作「全体のバランス調整」			予習	データのプリントテストをする
					復習	制作データの仕上げ・まとめる	
	第8回	内容	コンピュータ実習7/A課題の制作「データ校正プリント」			予習	データのチェック・提出準備する
					復習	完成データの提出をする	
第9回	内容	コンピュータ実習8/2021年オリジナルカレンダーの作成（以下B課題）「基本フォーマットの作成」			予習	2021年の暦を確認する	
				復習	グラフィックソフトの応用操作を反復する		
第10回	内容	コンピュータ実習9/B課題の制作「暦データの読み込み」			予習	カレンダーの見本をWEBなどで参考資料を集める	
				復習	制作データの制作プロセスの再確認をする		
第11回	内容	コンピュータ実習10/B課題の制作「テキスト編集」			予習	オリジナルの記念日など追加情報をまとめる	
				復習	制作データの仕上がりテキストの確認と修正する		
第12回	内容	コンピュータ実習11/B課題の制作「画像の編集」			予習	必要とする画像データを収集する	
				復習	制作データの仕上がり画像の確認と修正する		
第13回	内容	コンピュータ実習12/B課題の制作「レイアウト編集」			予習	資料の再確認による素材のチェックと再検討する	
				復習	制作データの仕上がりレイアウト確認と修正する		
第14回	内容	コンピュータ実習13/B課題の制作「全体のバランス調整」			予習	データのプリントテストをする	
				復習	制作データの仕上げ・まとめる		
第15回	内容	コンピュータ実習14/B課題の提出「データ校正プリント」			予習	データのチェック・提出準備する	
				復習	成データの提出をする		
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	データと共に提出したプリントに、評価を記して返還する。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（60%）、作品・発表（ %）、実技（25%）、授業態度（15%）						
教科書	初回講習時に配布する資料を参考書とする						
参考文献	インターネットにより参考資料各種						
注意事項	課題は期限までのデータでの提出が必須、常に自己のデータの保全管理に注意し、データの消失等に留意すること。						

科目名	DTPオペレーションII		単位数	2	実務経験	担当教員 もりやま たかつぐ 森山 隆次	
ナンバリングコード	DR331		授業形態	演習			
授業の内容	グラフィックデザインの職場で必要とされている、アプリケーションの操作技術の向上とデザイン・出版印刷業界企業の専門職に通じる、企画力のある人材の育成を目指す。「DTP オペレーション I」で学んだ技能の応用力を伸ばす。						
到達目標	1. グラフィックアプリケーションと操作知識を習得している。 2. グラフィックデザインおよび企画・編集・出版・印刷の知識を習得している。 3. 学期中に2点の課題の作成および提出している。						
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (②・③)						
授業計画	第1回	内容	講習内容のオリエンテーション／講義 (DTPの基礎知識)	予習		復習	第1回配布資料を熟読しDTP用語を理解する
	第2回	内容	コンピュータ実習1/飲食店舗の開店パンフレットの作成(以下課題A)「ソフトの基本操作」	予習	飲食店の選択した飲食店カテゴリーの資料収集	復習	グラフィックソフトの基本操作を反復する
				予習	新規店舗名とロゴマークを考案する	復習	制作ロゴデータのブラッシュアップ
	第3回	内容	コンピュータ実習2/A課題の制作「店舗ロゴの編集」	予習	メニュー及びサービス内容をまとめておく	復習	制作データのメニュー内容を校正・修正する
				予習	使用したい画像をUSBメモリに用意しておく	復習	制作データの画像・配置状況を確認・修正する
	第4回	内容	コンピュータ実習3/A課題の制作「テキスト編集」	予習	不足している要素がないか確認し用意する	復習	レイアウトの仕上がり状態を確認・修正する
				予習	事前プリントによるデータ確認を行う	復習	仕上がり状態をイメージブラッシュアップする
	第5回	内容	コンピュータ実習4/A課題の制作「画像の編集」	予習	制作データのレイアウト確認を行う	復習	完成作品のプリント及びデータを提出する
				予習	WEB検索などにより作例の参考資料の収集	復習	各アイテムの構成を再確認する
	第6回	内容	コンピュータ実習5/A課題の制作「レイアウト編集」	予習	書式・デザインパーツデータの用意	復習	招待状データの校正・修正
				予習	封筒形状の選択と確認・イメージ考案	復習	封筒データの校正・修正
	第7回	内容	コンピュータ実習6/A課題の制作「全体のバランス調整」	予習	席札サイズの確認・イメージ考案	復習	席札データの校正・修正
				予習	席次表のサイズ確認・イメージ考案	復習	席次表データの校正・修正
	第8回	内容	コンピュータ実習7/A課題の制作「データ校正プリント」	予習	全てのアイテムのブラッシュアップ	復習	完成作品のプリント及びデータを提出する
				予習	年間作成したデータのまとめとチェック	復習	
	第9回	内容	コンピュータ実習8/プライダグアイテムの作成(以下課題B)「デザインのプランニング」	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。			
第10回	内容	コンピュータ実習9/B課題の制作「招待状の作成」					
第11回	内容	コンピュータ実習10/B課題の制作「封筒の作成」					
第12回	内容	コンピュータ実習11/B課題の制作「席札の作成」					
第13回	内容	コンピュータ実習12/B課題の制作「席次表の作成」					
第14回	内容	コンピュータ実習13/B課題の制作「データ校正プリント」					
第15回	内容	A・B課題のまとめとポートフォリオの制作、総評					
課題へのフィードバック	データと共に提出したプリントに、評価を記して返却する。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：筆記試験 () %、レポート・課題 (60%)、作品・発表 () %、実技 (25%)、授業態度 (15%)						
教科書	初回講習時に配布する資料を参考書とする						
参考文献	インターネットにより参考資料各種						
注意事項	課題は期限までのデータでの提出が必須、常に自己のデータの保全管理に注意し、データの消失等に留意すること						

科目名	ファッションコーディネート		単位数	2	実務経験	担当教員	なかにし きわ 中西 希和
カンパリコード	FAB3231		授業形態	講義			
授業の内容	この授業では、ファッションコーディネートの基本的な知識や技術を身につけ、2種類以上のアパレル商品を組み合わせることによってトータルに美しく着こなす方法、また自分らしさを表現する方法を考えていきます。						
到達目標	1. ファッションコーディネートに関する基本的な知識や技術を身につけている。 2. 目的やイメージに合ったコーディネートをトータルで表現することができる。						
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2,3)						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション ファッションコーディネートの重要性	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この授業で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	20世紀のファッション史	予習	配布プリントを読んでおく		
				復習	戦後のファッション史を理解する		
	第3回	内容	ファッション情報について	予習	配布プリントを読んでおく		
				復習	ファッション情報を収集する		
	第4回	内容	ファッション商品の基礎知識	予習	配布プリントを読んでおく		
				復習	アクセサリーについてレポートにまとめる		
	第5回	内容	色によるコーディネート① 色の分類、色の心理的効果	予習	配布プリントの用語を調べる		
				復習	色についての基礎を理解する		
	第6回	内容	色によるコーディネート②(制作)	予習	必要な道具を準備する		
				復習	コーディネートの種類を整理し、まとめる		
	第7回	内容	素材・イメージによるコーディネート① イメージの分類	予習	配布プリントの用語を調べる		
				復習	素材、イメージについて理解する		
	第8回	内容	素材・イメージによるコーディネート② 制作	予習	必要な道具を準備する		
				復習	コーディネートの種類を整理し、まとめる		
	第9回	内容	体型に合わせたコーディネート	予習	配布プリントの用語を調べる		
復習				授業内容を確認し、整理しておく			
第10回	内容	ライフスタイルに合わせたコーディネート①(個別コーディネート作成方法)	予習	配布プリントの用語を調べる			
			復習	コーディネートの種類を整理しておく			
第11回	内容	ライフスタイルに合わせたコーディネート②(個別コーディネート作成)	予習	必要な道具を準備する			
			復習	コーディネートの種類を整理し、まとめる			
第12回	内容	フォーマルウェアの知識(昼、夜、ウェディング、ブラックのフォーマル)	予習	配布プリントの用語を調べる			
			復習	フォーマルウェアの種類を理解する			
第13回	内容	ネイルの基礎知識	予習	配布プリントの用語を調べる			
			復習	ネイルケアを行う			
第14回	内容	ヘア&メイクの基礎知識	予習	必要な道具等を準備する			
			復習	普段のメイクを見直す			
第15回	内容	授業の振り返りとまとめ	予習	配布プリントを整理しておく			
			復習	内容を復習する			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、解説と授業の振り返りを行います。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法：筆記試験(30%)、作品(40%)、授業態度(30%)						
教科書	なし。必要に応じ、プリントを配布します。						
参考文献	授業の中で随時、紹介します。						
注意事項	配布資料が多いので、失くさないように整理して保管してください。						

科目名	ショップ・プレゼンテーション		単位数	2	実務経験	担当教員 なかにし きわ 中西 希和
ナンバリングコード	FAB3232		授業形態	演習		
授業の内容	<p>ショップでは、ただ商品を並べるだけでなく、商品やショップのコンセプトをアピールしてお客様をひきつけ、買い物をするためにわかりやすく快適な環境を作る必要があります。</p> <p>この授業では、お客様にとって快適なショップとは何かを考え、基礎的な陳列や展示方法、POP、ラッピングの技術を習得することを目指します。</p>					
到達目標	<p>1. 快適で魅力的なショップとは何かを理解している</p> <p>2. ショップ演出の基礎的な知識、技術を身につけている</p>					
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,3 ）					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション ショップ演出の重要性、購買心理	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この授業で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	快適なショップ（売り場）作り、 ディスプレイの役割と効果、照明・色彩	予習	配布プリントを読んでおく	
				復習	売り場環境づくりについてまとめる	
	第3回	内容	陳列の基本とさまざまな方法について、 ショップの事例紹介、実習	予習	陳列について調べる	
				復習	陳列方法を理解する	
	第4回	内容	展示の基本とさまざまな方法について、 ショップの事例紹介、実習	予習	展示について調べる	
				復習	展示方法を理解する	
	第5回	内容	POPの役割、POP文字の書き方、 基本的なレイアウト	予習	POPについて調べる	
				復習	ショップの様々なPOPに注目してみる	
	第6回	内容	POP制作	予習	POPのデザイン、コピーを考える	
				復習	POPの役割を理解する	
	第7回	内容	ラッピング 斜め包み、合わせ包み、リボンの結び方	予習	ラッピングについて調べる	
				復習	ラッピング方法を理解する	
	第8回	内容	ラッピング ふろしき包み、ラッピングの応用	予習	配布プリントを読み、確認する	
				復習	実生活で実践する	
第9回	内容	アパレル商品の陳列・展示方法① フォーミング、フォールデッド	予習	必要な道具等を準備する		
			復習	手法を理解する		
第10回	内容	アパレル商品の陳列・展示方法② レイダウン、ピンナップ	予習	必要な道具等を準備する		
			復習	様々手法についてまとめる		
第11回	内容	学外見学（百貨店等のディスプレイ見学）	予習	見学場所について調べる		
			復習			
第12回	内容	学外見学（百貨店等のディスプレイ見学）、学外見学まとめ（レポート提出）	予習			
			復習	レポートにまとめる		
第13回	内容	ディスプレイ実習①（ディスプレイ計画、グループ決定）	予習	配布プリントを読んでおく		
			復習	担当する作業を理解する		
第14回	内容	ディスプレイ実習②（グループごとにディスプレイ発表）	予習	必要な道具等を準備する		
			復習	実習を振り返り、考えをまとめる		
第15回	内容	授業の振り返りとまとめ	予習	配布プリントを整理しておく		
			復習	内容を復習する		
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。						
課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、解説と授業の振り返りを行います。					
成績評価	<p>試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない</p> <p>成績評価の方法： 筆記試験（30%）、レポート・課題（30%）、発表（10%）、授業態度（30%）</p>					
教科書	なし。必要に応じ、プリントを配布します。					
参考文献	授業の中で随時、紹介します。					
注意事項	配布資料が多いので、失くさないように整理して保管してください。					

科目名	商業デザイン演習	単位数	2	実務経験	担当教員	もりやま たかつぐ 森山 隆次
カンパリクコード	BP411	授業形態	演習			
授業の内容	本授業ではコンピュータによる課題作成を中心に、学生各自のデザインの想像力・創作力をデータ作成という具現化実習を通じて、クリエイティブ能力を発展・向上させ、積極的な提案を求められる実社会に通用するスキルを育てることを主たる目的とする。					
到達目標	1. グラフィックアプリケーションの操作の習得している 2. 学期中に2点課題の作成および提出している 3. 国際ユニバーサルデザイン協会認定「UD検定」受験ための知識を習得している。					
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ②・③ ）					
授業計画	第1回	内容	講習内容のオリエンテーション、講義（デザイン史および現代デザイン概論）	予習		
				復習	配布された資料を熟読する	
	第2回	内容	コンピュータ実習1/オリジナル時計の作成（以下課題A）「ソフトの基本操作」	予習	壁掛け時計のデザイン例参考資料を収集する	
				復習	ソフトの操作・データの扱いを再確認する	
	第3回	内容	コンピュータ実習2/A課題の制作「文字盤の構成1」	予習	時計の文字盤の背景のデザインを考案する	
				復習	背景データの再確認及び修正する	
	第4回	内容	コンピュータ実習3/A課題の制作「文字盤の構成2」	予習	文字盤の時数字のレイアウトを考案する	
				復習	数字の並びなどデータの再確認及び修正する	
	第5回	内容	コンピュータ実習4/A課題の制作「文字盤の構成3」	予習	時分針のデザインを考案する	
				復習	時分針のデータの再確認及び修正する	
	第6回	内容	コンピュータ実習5/A課題の制作「データの確認・プリント」	予習	デザインデータをブラッシュアップする	
				復習	制作データの仕上がり状態を確認修正する	
		内容	実物制作実習1/A課題の制作「文字盤パネル貼り込み成型」	予習	実物制作のため、データをプリントを用意する	
				復習	作品の仕上がり状況を確認し修正する	
	第8回	内容	実物制作実習2/A課題の制作「時計針取り付け」	予習	時分針の配置の再確認と修正する	
				復習	完成データ及び実物作品を提出する	
第9回	内容	講習内容のオリエンテーション、講義（ユニバーサルデザイン概論）	予習			
			復習	配布された資料を熟読する		
第10回	内容	コンピュータ実習6/製品パッケージの作成（以下課題B）「ソフトの応用操作」	予習	製品パッケージについて市場をリサーチする		
			復習	ソフトの操作・データの扱いを再確認する		
第11回	内容	コンピュータ実習7/B課題の制作「展開図の作成」	予習	配布されたデータの展開を考案する		
			復習	制作展開データの再確認と修正する		
第12回	内容	コンピュータ実習8/B課題の制作「デザイン面の作成」	予習	デザイン面の構成を考案する		
			復習	制作デザインデータの再確認と修正する		
第13回	内容	コンピュータ実習9/B課題の制作「製品のシリーズ化」	予習	デザイン面のバリエーションを考案する		
			復習	制作データをブラッシュアップ		
第14回	内容	実物制作実習3/B課題の制作「データプリント・切抜き」	予習	実物制作のため、データをプリントを用意する		
			復習	作品の仕上がり状況を確認し修正する		
第15回	内容	実物制作実習4/B課題の制作「組立・仕上がり確認」	予習	完成に向けてアップデートを考案する		
			復習	完成データ及び実物作品を提出する		
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	提出課題時、データと共に提出した作品物に、評価を記して返還する。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（60%）、作品・発表（25%）、実技（ %）、授業態度（15%）					
教科書	初回講習時に配布する資料を参考書とする					
参考文献	インターネットにより参考資料各種					
注意事項	課題は期限までのデータでの提出が必須、常に自己のデータの保全管理に注意し、データの消失等に留意すること。					

科目名	表計算演習		単位数	2	実務経験	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	INS3223		授業形態	演習			
授業の内容	MOS（マイクロソフトオフィススペシャリスト）のエクセルの試験の合格を目指す授業です。表計算ソフトのエクセルの操作、特にMOS試験の出題範囲である「ワークシートやブックの作成と管理」、「セルやセル範囲のデータの管理」、「テーブルの作成」、「数式や関数を使用した演算の実行」、「グラフやオブジェクトの作成」について学びます。操作方法の学習、模擬試験を行なうことにより、MOSのエクセル試験に合格できるスキルを身に付けることを目指します。						
到達目標	1. エクセルの操作ができる。 2. データの集計ができる。 3. グラフが作成できる。 4. 社会生活において困らない表計算スキルを身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	エクセルの操作① ワークシートやブックの作成と管理	予習	ワークシートの作成について調べる		
				復習	ワークシートの操作について復習する		
	第3回	内容	エクセルの操作② ワークシートやブックの作成と管理	予習	ブックの作成について調べる		
				復習	ブックの操作について復習する		
	第4回	内容	エクセルの操作③ セルやセル範囲のデータの管理	予習	セルの操作について調べる		
				復習	データの管理について復習する		
	第5回	内容	エクセルの操作④ テーブルの作成	予習	テーブルについて調べる		
				復習	テーブルの作成について復習する		
	第6回	内容	エクセルの操作⑤ 数式や関数を使用した演算の実行	予習	数式や関数について調べる		
				復習	演算方法について復習する		
	第7回	内容	エクセルの操作⑥ グラフやオブジェクトの作成	予習	グラフについて調べる		
				復習	グラフの作成について復習する		
	第8回	内容	エクセルの操作⑦ 復習演習	予習	これまで行なった機能について調べる		
				復習	これまで行なった機能を復習する		
第9回	内容	MOS エクセルの模擬試験①	予習	MOS 試験の形式について調べる			
			復習	模擬試験を復習する			
第10回	内容	MOS エクセルの模擬試験②	予習	エクセルの機能を確認する			
			復習	模擬試験を復習する			
第11回	内容	MOS エクセルの模擬試験③	予習	エクセルの機能を確認する			
			復習	模擬試験を復習する			
第12回	内容	MOS エクセルの模擬試験④	予習	エクセルの機能を確認する			
			復習	模擬試験を復習する			
第13回	内容	MOS エクセルの模擬試験⑤	予習	エクセルの機能を確認する			
			復習	模擬試験を復習する			
第14回	内容	MOS エクセルの模擬試験⑥	予習	エクセルの機能を確認する			
			復習	模擬試験を復習する			
第15回	内容	まとめ	予習	エクセルの機能を確認する			
			復習	これまでの演習を振り返る			
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、模擬試験（50%）						
教科書	『Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 2016 対策テキスト& 問題集（よくわかるマスター）』（富士通エフ・オー・エム、FOM 出版）						
参考文献	なし						
注意事項	教科書の模擬試験システムを使用しますので、指定の教科書を必ず用意してください。						

【文化表現学科】

「実務経験のある教員等による授業科目」一覧

(シラバスリンク：旧カリキュラム)

https://www.akikusa.ac.jp/akitan/wordpress/wp-content/themes/akikusaTheme/assets/pdf/bh_syllabus_2020_old.pdf#pagemode=bookmarks

	科目名	単位数	授業形態	担当教員	シラバスページ
1	マンガ・イラスト表現Ⅰ	2	演習	飯田耕一郎	本年度配当無し
2	マンガ・イラスト表現Ⅱ	2	演習	飯田耕一郎	本年度配当無し
3	校正・校閲演習Ⅰ	2	演習	野中博史	本年度配当無し
4	校正・校閲演習Ⅱ	2	演習	野中博史	本年度配当無し
	計	8			

(実務家教員略歴)

飯田 耕一郎 ～ 漫画編集部勤務を経て、漫画家として活動する傍ら、日本マンガ塾講師を務める。

野中 博史 ～ 大学卒業後28年間、新聞記者として実務を担当。

注) 「実務経験のある教員等による授業科目」とは、担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行っている授業科目を指す。実務経験があっても、担当する授業科目の教育内容と関わりがなく、授業に実務経験を活かしているとは言えない場合は対象とはならないことに注意すること。また、必ずしも実務経験のある教員が直接の担当でなくとも、例えば、オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて指導を行う場合や、学外でのインターンシップや実習等を授業の中心に位置付けているなど、主として実践的教育から構成される授業科目もこれに含む。必修科目、選択科目又は自由科目の別を問わない。